

議事録	会議名	豊島区立朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型小中連携校および総合体育場の整備等を考える会（スポーツ施設検討部会）
議題	1	開会
	2	グループワーク①～総合体育場としてのありたい姿～
	3	こどもワークショップ・ファーマーズマーケットの内容を共有
	4	グループワーク②～学校との共用について考える～
	5	議論のまとめ
	6	閉会
日時	令和7年9月25日（木）	18:30～20:00
場所	豊島区役所	509・510会議室
出席者数	スポーツ施設検討部会委員：14名	
	事務局：5名	
	支援事業者：6名	
会議内容（要旨）		
<会の概要>		
1. 開会		
はじめに		
<部会全体の流れ>		
・ 今回はスポーツ部会の最終回。10月下旬から11月頭頃にSTEP 3 の全体会が始まる。		
・ STEP 3に向けて、本日、お配りした基本方針・整備方針をたたき台としながら議論し、スポーツ施設としてのありたい姿を形にしていきたい。		
2. グループワーク①～総合体育場としてのありたい姿～		
■ 基本方針		
<テニス>		
・ 競技スペースや設備の充実が重要。		
→それが実現されれば結果的に、都内にはないような特別な施設となる。		
→砂を落とせるスペースをつくり、他の競技への影響が出ない配慮が必要		
・ 現在実施しているテニススクールは「3-1.学校と連携しスポーツ施設に親しむ機会を増やす」に寄与できる可能性がある。		
<野球>		
・ イケサンパークから気軽に足を運べる施設づくり		
→イケサンパークとの連携を重視し、一体で利用価値を高めることが重要だと考える。		
→現状は、近隣住民からの声もあり、敷地周辺を準備運動で使いにくい状態。		
<弓道・アーチェリー>		
・ 問題ない。		

<体育室①>

- ・女性が使いやすい施設づくり

<体育室②>

- ・真の「総合的な」スポーツ施設

→多様性のあるスポーツ施設としたい。

- ・年齢や障害の有無に関わらず、誰もが使いやすい施設

→アクセスのしやすさやバリアフリー化が重要になると考える。

- ・プロ、外部指導者による小中学生への部活指導

→地域の人が指導にどう関わるのか、継続的なつながりが生み出せる運営やシステムが重要

■整備方針

<テニス>

- ・柱が出てきたときにプレースペースが狭くならないように。壁面まで7m確保できるのが理想。

- ・ロブを打つ人もいるため、一般の人が打つと9mでも足りないこともある。

- ・照明は埋め込みとし、できる限り天井高を高くしたい。

<野 球>

- ・A面をメインとした設計としてほしい。

- ・敷地を南北につなぐ人が歩ける通路が欲しい。

- ・イケサンパーク側など、複数の出入口が欲しい。

- ・ブルペンや雨天時練習場があると柔軟な利用が可能となる。

- ・野球場の下に駐車場を設置できるか。

- ・駐輪場は複数箇所に計画することで、アクセス性・利便性を高めたい。

<弓 道・アーチェリー>

- ・アーチェリーの控え3mと待機3mは角度を変えてよい。（射場の横に移動させるなどの調整は可能）

- ・弓道場について、畳が必要な場合は置畳とする。

- ・弓道場は半屋外だと夏や冬がつらいので屋内が良い。

- ・駐車場は利用者優先で、指導員無料にするなど、利用者の減少につながらないような運用としたい。

- ・EVの天井は弓を持つので、2.5~3mは欲しい。

<体育室①>

- ・管理諸室として、和弓のたたみ切れる作業スペースが欲しい。内からも外からもアプローチできる必要がある。

- ・更衣室・シャワー室は、掃除しやすく、かびにくい抗菌仕様である必要がある。

- ・女性用の便器多めにし、女性用パウダールーム(スペース)を設けたい。

- ・駐車場は、障害者も使いやすい設計とし、割引などがあると使いやすい。

→自転車も含めてこの施設を利用する人が優先的に利用できる駐車場システム。

#### <体育室②>

- ・体育室(卓球場)は多目的利用ができる設えとし、ダンスができるように鏡を設置する。
- ・エントランスは休憩スペースとしての活用ができるような広さ、設えとしたい。
- ・各階にトイレが必要。誰でもトイレやベビーチェア、ベビーベッドの整備も必要。

#### 3. こどもワークショップ・ファーマーズマーケットの内容を共有

##### ★こどもワークショップについて

- ・朋有小の5年生は、スポーツ施設と学校が一緒になったらどんなことをしたい？というテーマでワークショップを実施。スポーツに限らず、遊びやイベントで使いたいという、枠にとらわれない、様々な意見が出てきた。

##### ★ファーマーズマーケットについて

- ・ファーマーズマーケットでは、区内外からイケサンパークを訪れている方を対象としてアンケートを行い、スポーツ施設としての期待や、地域に根差した施設としての期待をいただいた。

#### 4. グループワーク②～学校との共用について考える～

##### <テニス>

- ・子どもWSの意見を実現するには、イベントなどを計画する大人や、遊びの際に開放する（見守る）大人が必要となる。
- ・テニスやサッカーは壁とスペースがあるだけで簡単な壁打ち練習ができる。
- ・子どもWSからは、いろいろなスポーツがしたいという意見が出ているが、今回の施設で整備するには何らかの軸が必要。あくまで多目的利用の範囲内の整備となる。
- ・周囲の公園はボール遊びが禁止されている。安全に屋内でボール遊びができるような環境をつくってあげると、子どもたちが来なくなる施設になるのではないか。

##### <野 球>

- ・野球場は平日の昼休みであれば、子どもたちも利用可能だと考える。
- ・子供にも分かりやすく発信することで、ルールを守りながら使ってもらえるのではないか。
- ・土日は少年用の野球場として、学校の校庭を使えるとうれしい。
- ・エリアで活動を設定できると使いやすい
- ・イベントの規模に応じて臨機応変に  
→総合体育場では大きすぎるイベントを学校で行えると良い。
- ・100人規模で使える会議室があると他の使い方もできる。
- ・給食室や家庭科室をケータリングで使えないか。
- ・マラソンのスタート地点に設定するなど、豊島区のスポーツ、文化の発信拠点とできないか。
- ・坂下通りをイベント時は歩行者天国とし、イベントに使えないか。

#### <弓道・アーチェリー>

- ・木金は終日、小学生が見学できる等、連携の仕方はいくつか考えられる。
  - ・自由に見学できる通路スペースがあると気軽に見学しやすい。
  - ・体験は大歓迎。
  - ・空いている時は使ってもらえるが、弓道やアーチェリーは武器であり、注意が必要。
  - ・ボーガンは月一回利用している。
  - ・コマを区切って事前に調整はできるが、いきなり来ても使えない事は注意が必要。
  - ・学校の開放における利用管理は常駐とできるのか。
  - ・空き教室や会議室を利用できると良い。
  - ・子供がいない時のセキュリティーの考え方も重要となる。
  - ・図書室も使えればありがたい。
- 勉強や仕事で図書室、教室を利用できるなどの可能性はないか。

#### <体育室①>

- ・本当は大きな体育館が欲しい
- 学校の体育館、武道場を使っていない時に使えるようにしたい。
- 運営をスポーツ側にしてもらわないとそもそも利用登録できないので、放課後(平日)、土日祝日などは運営をスポーツ側にしたい。
- ・夏場暑くて子供が遊べないので、アーチェリーなどの使っていない時間を開放できると良い。
- その際、人工芝だと使いやすい。
- ・屋内プールはスポーツ管理とすることで、維持管理や、収益性、通年使えるなど、多くのメリットがあるのではないか。
- その際、8～9コースで、床が上下すると使いやすい。

#### <体育室②>

- ・体育館でできない活動を総合体育場の空き時間に子どもたちができるといでのではないか。
- ・例えば、部活やクラブ活動、夏休み(長期休み)のイベントなど。
- ・卓球場の利用可能性としては、eスポーツやヨガ、ダンスなどが考えられる。
- ・室内で遊べる運営とする場合には、見守りを誰がするかが課題となる。
- ・体育館をスポーツ施設利用者も使えるようにする場合は、バスケやバレー、フットサル、ハンドボールなどの活用可能性があると思う。
- ・プールは地域開放を前提とし、管理面の連携が取れると良い。
- ・武道場は、授業での指導連携が図れると良いのでは。

## 5. 議論のまとめ

- ・基本方針や整備方針についていただいた意見は、次回の全体会までに整理し、共有できるように準備を進めていく。
- ・学校との共用についていただいた意見も、STEP 3で特に大切になってくる視点であるため、気づきを塗り重ねながら、施設計画に活かしていきたいと思う。

## 6. 閉会

生涯学習・スポーツ課長挨拶